



ICT活用により学びの意欲を高める ～穴水小学校の挑戦～

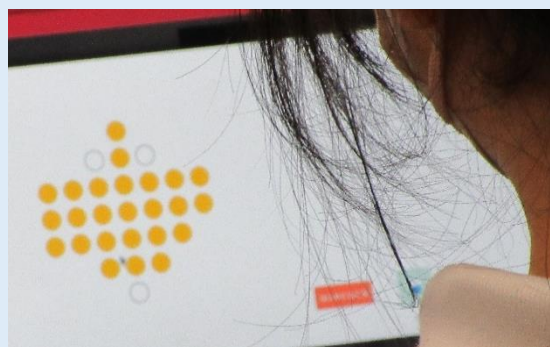
「GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業」の公開研究発表会が、9月29日の穴水中学校に引き続き、10月27日に穴水小学校で行われました。穴水小学校の公開授業の様子を紹介します。

第4学年 算数科「計算のきまり」

学習者用デジタル教科書×指導の工夫



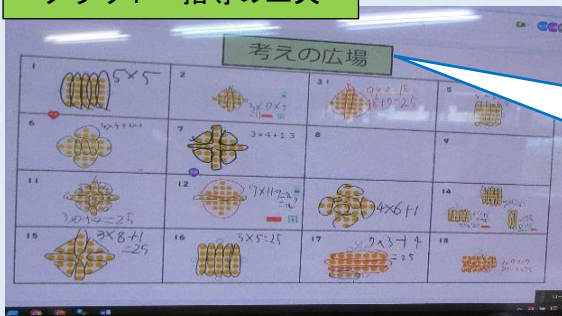
簡単に、何度でも書いたり消したりできるので、児童は躊躇せずにとまどまりごとに囲み線をいれていました。試行錯誤しながら考えている児童の姿が見られました。



児童がドットを自由に動かすことができるので、並び替えて数を求めるということが考えやすくなりました。また、動かす前の場所には○（白丸）が残り、思考の過程が分かります。

ボタン一つで始めの形にすぐに戻すことができるので、一からやり直したり、繰り返してやってみたりと、思考の整理ができます。

クラウド×指導の工夫



自分の考えを表した図を、Jamboard上の「考えの広場」に児童自らが貼り付けて、みんなと考えを共有していました。

**児童自らが、考えを発信・共有し
多様な考えに触れることができる**

**個に応じて効率的な指導・支援を
行うための見取りに活用する**



【授業を参観して】

児童は Jamboard を見開きのノートのように使っていました。そこには「基本」「確認」「活用」「まとめ」というマークが入っており、児童にも一時間の授業の流れが分かりやすくなっていました。

また、デジタル教科書に書き込んだ自分の考えをスクリーンキャプチャして、別のシートに貼り付けるという作業に児童は慣れていました。たくさんのタブの中から「自分のノート」や「考えの広場」のタブをさっと選び、貼り付けていました。

笑顔でわくわくしながら授業に取り組んでいる児童の姿が印象的でした。

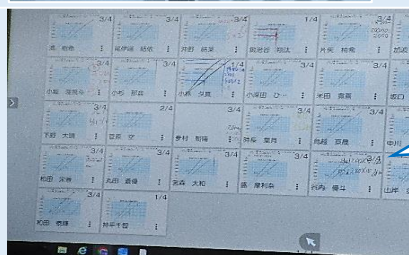
第6学年 算数科「比例と反比例」



学習者用デジタル教科書×指導の工夫

比例のグラフに、書き込みをしながら考えを公表する姿が見られました。書き込んだことを容易に消したり、保存したりできるという強みを生かして、効率的に全体交流が進みました。

様々な情報へ容易にアクセスできる強みを生かし、他の教科書や教材と結びつけて学びを深める指導を率行的に行うことも考えられます。



クラウド×指導の工夫

みんなの考えを一覧で見ながら、聞きたい相手を選んで交流する児童の姿が見られました。相手を選ぶ際、書き込まれた数や式に着目して交流するように働きかけをする教師の指導も見られました。

自分の座席で、みんなの考えを閲覧できる環境がある



交流相手を児童に選択させる教科で大切な視点をもたせる



【授業を参観して】

大型モニターか手元の端末で見る、聞きたい相手を選んで交流する等、インプットやアウトプットの方法を児童に選択させる授業に転換していこうとする挑戦が見られた授業でした。聞きたい相手を選んで交流する方法は、児童の主体性の向上につながります。交流では教え合っている児童や、自分の考えを確かめている児童が多く見られました。児童の「学びたい」という意欲の高まりや、個別最適な学びの姿が見られました。

訪問でも見られました！ |人|台端末の効果的な活用

三井小学校 第2学年 算数科「たし算とひき算のひっ算」

【ねらい】

3位数－2位数の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方を基に考えることができる。

【活用場面】複式授業の間接指導時において、筆算の仕方を考える場面

- ・102－65の筆算の仕方をデジタル教科書の数カードを操作しながら考え、ノートに自分の考えをまとめる。

①数カードを使って考える、②図をかいて考える、③端末を用いて考えるという解決方法から、児童が「端末を用いて考える」と自己決定していました。

1人1台端末のよさは、百の位から1繰り下げると十の数カード10枚に、同様に十の位から1繰り下げると一の数カード10枚に変換されることです。児童は数カードを何度も操作しながら、筆算の仕方の説明につなげていました。

また、児童が試行錯誤しながら考える様子は大型テレビに映し出されていました。1年生の直接指導を行っていた教師も2年生の学習状況を見取ることができていたため、その後の直接指導もスムーズに行われました。

